

32 (農) 夢耕坊 (石川県白山市)

実証面積：31ha

実証課題名 大規模水稻経営における農業ブルドーザとドローンを活用したスマート農業技術体系の実証

構成員 石川県農林総合研究センター農業試験場、(株)小松製作所、(株)オプティム、石川県立大学、(公財)いしかわ農業総合支援機構、石川県石川農林総合事務所、白山農業協同組合、(農)夢耕坊

背景・課題

- 3つの農業法人が合併し、更なる営農面積の拡大や経営基盤強化に対応するためスマート農業技術を導入する。また、ほ場の均平作業や防除作業の受託等の業務拡大を目指す。
- 農業経営の方向性(経営戦略)とスマート農業技術の導入を判断する「鍵」となる費用対効果とのバランスについて検証が必要。



日本海から望む白山

本実証プロジェクトにかける想い

○農業を取り巻く環境は大きく変化しています。そうした中、私たちが目指す足腰の強い経営を実現するため、本実証においてスマート農業技術の導入効果について見極めたいと考えています。



目標

- 実証農場における慣行のV溝乾田直播栽培体系から、労働時間を10%以上削減
- 多収性品種を組み合わせ実証農場におけるV溝乾田直播栽培の収量を5%増収

実証する技術体系の概要

要素技術 ①農業ブルドーザ、②水管理の見える化、③自動飛行ドローンによる病害虫防除、④ドローン空撮による生育診断、⑤栽培管理支援システム、⑥ほ場管理システム

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる！」ポイント	①	③		④	③			①				

①農業ブルドーザ
(株)小松製作所

③自動飛行マルチロータ
(ヤマハ発動機(株))

⑥水田管理の見える化、生育診断、ドローン制御を行うほ場管理システム
(株)オプティム

問い合わせ先

▶ **実証代表**
▶ **視察等の受入について**

石川県農林総合研究センター農業試験場 e-mail:nk-kika@pref.ishikawa.lg.jp
(公財)いしかわ農業総合支援機構 担当 林 e-mail:j-hayasi@inz.or.jp
TEL : 076-225-1660 FAX:076-225-7622